

ふるさと探訪の道

阿南健康第14番完歩 羽ノ浦公民館の道

羽ノ浦公民館
羽ノ浦町宮倉大木38-4
TEL(0884)44-1120

便利メモ帳

羽ノ浦町交番:44-2550
共栄タクシー:44-4444

生野外科胃腸科:44-5511
高橋内科クリニック:44-6222
むらかみ内科
循環器クリニック:44-1010
羽ノ浦整形外科
内科病院:44-6111



土手は車の通行の多い中腹の車道を避けて、一番上の道を歩きましょう！

ふるさと探訪の道

阿南健康第14番完歩 羽ノ浦公民館の道

①羽ノ浦公民館	400m	②羽ノ浦総合国民体育館	200m
WC			
③美馬順三墓所	1.6km	④岩脇公園登口	300m
⑤桜堤公園	1.4km	⑥岩脇水神社	900m
WC			
⑦デイサービスセンター秋桜荘	1.2km	⑧情報文化センター	600m
閉鎖中		WC	
⑨羽ノ浦集会所	1.1km	⑩前川親水公園周回	400m
⑪上田歯科医院	600m	⑫春日野中央公園	500m
⑬春日野分館	600m	WC	
羽ノ浦公民館	WC		

●美馬順三墓所 岩脇・紫雲庵の境内に「密山即順居士」と法名印刻された美馬順三氏の墓碑がある。寛政7年(1795年)に岩脇村に生まれ、長崎で蘭学を学び、オランダの医師シーボルトに師事して鳴滝塾頭として、その名を馳せ、日本医術を世に紹介した。31歳学業半ばにして長崎で没し、その墓は長崎市寺町の大音寺の境内にある。その後、美馬家の者が長崎にいたり、その碑文を写しかえって建立した。

●取星寺 妙見山松寿院取星寺と称され、弘法大師を開基とする。古い歴史を持ち郷土では第一の古刹である。古い記録によれば応永19年(1412年)後小松天皇の時増上人によって古びた取星寺は復興した。後日、祈願により天皇の病気が快復し、紫の法衣を賜った。現在の紫衣池の地名に由来する。またこの寺は、岩脇公

園の一部でもあり、春は桜、初夏にはアジサイ、秋には紅葉が見ごろとなる。

●明現神社 神仏混合の時代は妙見宮と呼んでいたが明治元年(1868年)神仏分離のあと明現神社と改称した。岩脇・明見・古毛地区の産土神で開運守護の尊神である。ご神体は木彫像で弘法大師の作だといわれている。文化12年に完成された「阿波史」に「星祠、岩脇山中に在り」と記され星との深いかわりかわりをしをのぼせている。

●桜の馬場 那賀川堤防から妙見山の麓まで150mの馬場の両側に250本あまりの老木、若木の各種の桜の並木があり、県南の桜の名所として知られている。春には爛漫たる花のトンネルとなり、これが岩脇公園の入口玄関である。明治の末頃までここで競馬がおこなわれた。

●桜堤公園 ここは、もともと那賀川の水や上流の浸透水が湧き出す遊休地であった。平成5年に約500mのボタン桜並木ができ、併せてドンガン川の低湿地を整備して、中央に池・太鼓橋・遊具・駐車場等が設置され、住民の憩いの場となっている。春には町外からも多数の花見客が訪れている。

●岩脇の水神社 水神社は、本殿の屋根の上部に反りをもたせ長く流した「流造り」の様式を模して造られ棟には干木・鯉木がつけられている。本殿の前の両側に獅子狛が置かれている。祭神は、水遠女命(みずはのめのみこと)である。紀記神話によると伊弉諾尊・伊弉冉尊の間に生まれた神であるという。灌漑用水の神として取水口などにまつられ、堰用水を守る神であるともいわれている。岩脇の水神社は、旧大井出用水堰の上に建てられその横には堰跡の碑文がある。

●前川親水公園 従来、湧水池として子供の水遊び場、釣り場として親しまれていたが、地下水の低下、水質の悪化により水辺の環境整備が行われ、あづまや、遊歩道、トイレなどが設置された。現在湧水量は少なくなっているが、地域住民の憩いの場として利用されている。